

| No. | 実施大学 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位数 | 開講区分 | 曜日 | 予定回数 | 時間 | 実施場所 | 定員 |
|-----|--------|---------|------------------|-----|------|----|------|----|--------|----|
| 53 | 東京純心大学 | 小児看護学概論 | 荻原 康子 看護学部 教授 | 1 | 前期 | | 8 | | 東京純心大学 | 5 |

【到達目標】

1. 小児看護の理念、目的、対象について説明ができる。
2. 小児看護における倫理と、子どもの権利について説明ができる。
3. 子どもの成長・発達に関連の深い理論について、その活用の意義を述べることができる。
4. 子どもの一般的な各発達段階の特徴と、健やかな成長・発達のための養育および環境について説明ができる。
5. 健康障害をもつ子どもと家族にとっての疾病障害の受容、ストレス・コーピング、について説明できる。
6. 健康障害をもつ子どもと家族への支援について説明ができる。

【授業の概要】

本科目では、小児看護学を学ぶ基盤となる子どもの特徴および小児医療・看護の変遷、子どもの成長・発達の理解に必要な各理論、倫理的配慮、各発達段階の特徴、さまざまな小児看護の場にいる子どもとその家族および場の特徴、などについて学修する。子どもを取り巻く環境が大きく変化し、国の法律・施策の改正が行われている。とりわけ、2016年に一部改正のあった児童福祉法において「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）に則る内容である」との明示がされ、すべての子どもはその家族を含め「最善の利益を目指す」関わりを受ける権利のあることが掲げられている。看護職は、多岐に渡る看護の場において、子どもの個の特徴をふまえたうえでセルフケア能力が培われるよう働きかける役割をも担うが、このために必要な、各発達段階の特徴、発育・発達の評価などの一般的なスケールを学修する。また、あらゆる場での多職種連携・協働のなかで看護専門職の責務が果たせるよう、その場の概要と看護師の具体的な役割について学び、続く当該領域の学びの基盤と学習の動機づけの機会とする。基本となる概念理解が「子ども中心のケア」にむけ重要である。

【授業内容】

1. ガイダンス：小児看護学の全体の学習概要、科目概要、小児看護学概論を学ぶ意義
小児看護の特徴と理念：・小児看護の理念、目的、対象・小児看護の変遷と成育医療に考え方
・小児看護における倫理と子どもの権利（インフォームドアセント、セルフケア、アドボガシーほか）
・ポウルビィ愛着理論、エリクソン自我発達理論、ピアジェの認知発達理論・小児医療、小児看護の課題
2. 子どもの成長・発達 ①乳児期：・形態的、機能的、心理社会的発達・授乳、離乳、栄養・感染予防、事故防止・あそび、安全な環境・愛着形成分離不安・育児支援
3. 子どもの成長・発達 ②幼児期：・形態的、機能的、心理社会的発達・基本的生活習慣の自立・食生活、栄養、食育・自我発達、あそび・事故防止と安全教育・育児支援
4. 子どもの成長・発達 ③学童・思春期：・形態的、機能的、心理社会的発達・セルフケアと保健教育・食生活学習と遊び
・ライフスキルの獲得、生活習慣病の予防・仲間、異性との関わり・親子関係・アイデンティティの確率・第二性徴・問題行動と対処
5. 子どもの成長・発達 ④成長・発達、発達評価、あそびの機能と発達：・成長発達の概念、原則、影響する因子
・身体発育評価（パーセントイル、カウブ指数、ローレル指数、肥満度）・精神運動機能評価（デンバー発達判定法ほか）・認知、情緒、社会性、言語など
・あそびの意義と分類
6. 健康障害をもつ子どもと家族 ①急性期にある子どもと家族の看護：・病気の受け止め・外来受診（緊急度、トリアージ）
・入院、問診、バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント・検査、処置・ストレスコーピングと支援・安全、安楽への援助
・プレパレーション、ディストラクション
7. 健康障害をもつ子どもと家族 ②慢性期にある子どもと家族の看護：・慢性疾患の特徴・公費助成・キャリアオーバー・地域連携、調整健康障害をもつ子どもと家族 ③終末期にある子どもと家族の看護：・子どもにとっての死の概念・緩和ケア・家族の反応と援助・死の準備教育
8. 障害のある子どもと家族：・障害の種類・障害の受容・心身障害の定義と種類・発達障害・社会資源活用と援助子どもの虐待と看護：・子どもの虐待とは
・不適切な養育（マルトリートメント）について・発生へのリスク要因と発生予防、早期発見・児童虐待における看護（詳細は他科目に続く）

【成績評価方法】

課題：20%
定期試験：80%

【教科書】

- ・『小児看護学概論 小児臨床看護総論』小児看護学① 医学書院
- ・『小児臨床看護各論』小児看護学② 医学書院

【参考書、教材等】

- ・『小児看護 第2版（パーフェクト臨床実習ガイド）』（2019）照林社
- ・『新体系看護学全書 小児看護学①小児看護学概論』（2021）メジカルフレンド社
- ・その他適宜紹介する。

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。